

働き方改善に関するアンケート調査



【従業員調査票】

<調査協力のお願い>

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から県政にご理解とご協力いただきありがとうございます。

さて、昨今の雇用情勢においては、有効求人倍率の改善や失業率の低下など、雇用の量的な指標の改善は見られるものの、平成24年就業構造基本調査によると、奈良県の非正規雇用者比率は37.4%、社会生活統計指標（一都道府県の指標）によると、平成24年の奈良県の離職率は5.5%と、いずれも全国平均を上回っており、雇用の質の向上が課題となっています。

このため、県内企業に勤務されているみなさまの声をお伺いし、労働環境の実態を把握することにより、今後の雇用の質の向上に向けた効果的な施策の展開に資することを目的に標記の調査を実施することとしました。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、本調査の目的のみに利用いたします。個別の回答を公表したり、他の方に知られることはありません。ありのままをご記入いただければ幸いに存じます。

この調査は株式会社日本統計センターに委託しております。調査票の記入に関するお問い合わせ及び調査事業全体に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

平成27年10月

奈良県産業・雇用振興部雇用労政課

<調査票の記入に関する問い合わせ先>

【委託先】 株式会社日本統計センター調査部 担当：小林、吉永

TEL 0120-946015（フリーダイヤル）

<本調査事業全体に関する問い合わせ先>

【委託元】 奈良県産業・雇用振興部雇用労政課 担当：江上

TEL 0742-27-8828

<ご記入にあたって>

- この調査票の記入は、事業所側から記入を依頼された従業員の方（非正規社員の方はフルタイムで勤務する方）にお願いします。これ以外の方は回答しないようにお願いします。
- 回答は特に制約がない限り平成27年9月1日現在でご記入ください。
- 回答は、あらかじめ用意した選択肢の番号に○印もしくは所定の記入欄に数値をご記入ください。
- 「その他」を回答された場合、お手数ですが、その内容まで具体的にお答えください。
- 大変お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、従業員の方ご自身で同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成27年11月20日（金）までにご投函ください（会社や職場で取りまとめはしませんので、直接郵送でご提出ください。）

問 1 1. あなたの勤務先における雇用形態をお知らせください。(○は1つ)

1. 正規の職員・従業員	2. パート	3. アルバイト
4. 労働者派遣事業所の派遣社員	5. 契約社員	6. 嘱託
7. その他 ()		

問 1 2. あなたの勤務先での勤続年数をお知らせください。出向や転勤中の方は企業グループでの勤続年数でお答えください。

勤務先での勤続年数	年
-----------	---

問 1 3. あなたの勤務先には労働組合がありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問 1 4. あなたの昨年 1 年間の税込み年収についてお知らせください。(○は1つ)

1. 100 万円未満	2. 100～199 万円	3. 200～299 万円
4. 300～399 万円	5. 400～499 万円	6. 500～599 万円
7. 600～699 万円	8. 700～799 万円	9. 800～899 万円
10. 900～999 万円	11. 1,000～1,499 万円	12. 1,500～1,999 万円
13. 2,000 万円以上	14. 昨年の仕事は 1 年未満 (休職含む)	

【勤続年数が 5 年以上とお答えの方におたずねします。それ以外の方は問 1 6 へお進みください。】

問 1 5. あなたの年収はどのように変化しましたか。下記の 3 つそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ 1 つずつ) また、増加額もお答えください。

5 年前と比べて年収がアップしましたか	[1. した→増加額は () 万円	2. していない]
3 年前と比べて年収がアップしましたか	[1. した→増減額は () 万円	2. していない]
昨年と比べて年収がアップしましたか	[1. した→増減額は () 万円	2. していない]

問 1 6. 勤務先でのあなたの仕事・職種をお知らせください。なお、事務職、アシスタントは「2. 一般事務・受付・秘書」に○をつけてください。(○は1つ)

1. 総務・人事・経理等	2. 一般事務・受付・秘書
3. 販売	4. 営業
5. 接客サービス	6. 調査分析・特許法務などの事務系専門職
7. 研究開発・設計・SE などの技術系専門職	8. 医療・教育関係の専門職
9. 現場管理・監督	10. 製造・建設の作業
11. 輸送・運転	12. 警備・清掃
13. その他 ()	

問 1 7. 勤務先でのあなたの役職についてお知らせください。(○は1つ)

1. 一般社員 (非正規社員含む)	2. 係長・主任クラス (店舗管理・店長も含む)
3. 課長代理クラス	4. 課長クラス
5. 部長クラス	6. 支社長・専業部長クラス
7. 役員クラス	

【勤続年数が 5 年以上とお答えの方におたずねします。それ以外の方は問 1 9 へお進みください。】

問 1 8. あなたの役職や職能等級がどのように変化したかについて、下記の 2 つそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ 1 つずつ)

入社時と比べて役職がアップしましたか	1. した	2. していない	3. 役職者ではない
入社時と比べて職能級や資格がアップしましたか	1. した	2. していない	3. 職能資格制度はない

※1. 役職がアップすることを昇進といい、役職の付与に関係なく職能級や資格がアップすることを昇級・昇格といいます。

ii. 労働時間の実態について

問19. あなたは勤務先でどのような勤務時間制度が適用されていますか。(○は1つ)

1. 通常の勤務時間制度 (以下の2～6に該当しない場合)
2. フレックスタイム (一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できるものです)
3. 変形労働時間制 (一定の期間だけ勤務時間が異なるものです)
4. 交替制
5. 裁量労働制・みなし労働時間 (法律上の適用を受ける専門職、営業職、企画職等をいいます)
6. 時間管理なし (裁量労働制・みなし労働時間以外で、管理職などの場合)

問20. あなたの職場での出勤管理はどのような方法で行われていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. IDカードで記録 | 2. パソコンで入力する |
| 3. タイムレコーダーへの打刻 | 4. 出勤簿への押印・記入 |
| 5. 名札やホワイトボードへの記入 | 6. 職場の管理者による点検 |
| 7. その他 () | 8. 特になし |

問21. 平成27年9月のあなたの労働時間について質問します。(1)～(6)の間にお答えください。

(1) 就業規則等で決められた1日の所定の労働時間は何時間ですか。

※休憩時間を除く。変形制などの場合は、平均的な所定労働時間でお答えください。また管理職の方は、一般社員の所定労働時間でお答えください。7時間30分は7.5時間、7時間15分は7.25時間としてお書きください。

--	--

.

--	--

時間
 十 十 の位

(2) 9月の所定の出勤日数は何日でしたか。

--	--

日
 十 十 の位

(3) 実際9月に出勤した日数は何日でしたか。

--	--

日
 十 十 の位

(4) 9月の残業時間は何時間でしたか。

※残業手当の有無にかかわらず、業務に関係する実際に働いた時間について、上記(1)を超えた時間をお答えください(自宅での作業時間等も含む)。ただし、副業の時間は除いてください。

--	--	--

時間(くらい)
 百 十 十 の位

(5) (4)のうち残業手当等が支給されたのは何時間分でしたか。

※管理職またはみなし労働時間(裁量労働制等)が適用されている方は、深夜勤務手当、休日出勤手当が支給された場合のみ、その手当に該当する時間分をお答えください。ない場合は「0」と記入してください。

--	--	--

時間(くらい)
 百 十 十 の位

(6) あなたに対して残業手当・休日出勤手当・深夜勤務手当が支給されない部分がある場合、それはなぜだと思いますか。(○は2つまで)

1. 予算の制約で一定時間分までしか支払われないから
2. 定額で支給されるから
3. 自分の勉強のための時間なので手当申請をしていないから
4. 自分が納得する成果を出すためなので、手当を申請していないから
5. 仕事は所定労働時間内にするように指示・指導するとしているから
6. 上司がイヤな顔をするので、手当を申請しにくいから
7. 自分が管理職やみなし労働時間(営業職や専門職など)の対象外だから
8. その他
9. 支給されない残業はない

問 2 2. 1年前と比べて現在の労働時間は変わりましたか。(○は1つ)

1. 増えている	2. 変わらない	3. 減っている
----------	----------	----------

問 2 3. 現在のあなたの労働時間の長さに対する考えは次のうちどれですか。(○は1つ)

1. もっと短くしたい	2. 適当な長さである	3. もっと長くしたい
-------------	-------------	-------------

問 2 4. あなたの労働時間に関する考えについて、以下の点はそれぞれどの程度当てはまりますか。(○はそれぞれあてはまるもの1つ)

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない
a. 日々の始業・終業時刻を自由に決めたい	1	2	3	4
b. ある程度、皆と同じような時間帯で働きたい	1	2	3	4
c. 忙しい時には多少長くなっても仕方ない	1	2	3	4
d. 忙しくないときは早く帰るべきだ	1	2	3	4
e. 休日はしっかり休むべきだ	1	2	3	4
f. 休暇は長いほうが良い	1	2	3	4

問 2 5. 1週間のうち残業をする頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日 →問 2 6へ	2. 週に3～4日 →問 2 6へ
3. 週に1～2日 →問 2 6へ	4. ほとんどない →問 2 7へ

問 2 6. 問 2 5で「1.ほぼ毎日」～「3.週に1～2日」と回答された方におたずねします。所定労働時間を超えて働くのはなぜですか。(○は3つまで)

1. 人手不足だから 2. 仕事量が多いから (仕事が終わらないから) 3. 業務の繁閑が激しいから 4. 仕事の性格上、所定外でないとできない仕事があるから 5. 上司の指示や手続きなど仕事の進め方にムダが多いから 6. 仕事の締め切りや納期にゆとりがないから 7. 仕事と生活に対して相応の報酬が欲しいから 8. 周囲が残業をしているので、先に帰りづらいから 9. 予定外の仕事が突発的に飛び込んでくるから 10. 自分の仕事をきちんと仕上げたいから 11. 仕事の内容や目標が変更されるから 12. 自分の能力が足りないから 13. 部下・後輩などを指導しているから 14. 査定や評価を上げたいから 15. その他 ()

【全員の方におたずねします。】

問 2 7. あなたは直近1年間(平成26年9月1日～平成27年8月31日)で年次有給休暇を何日付与されましたか。また、直近1年間で何日取得しましたか。

■付与された年次有給休暇日数 ()日 ※付与されていない方は「0日」とご記入ください。 ■取得した年次有給休暇日数 ()日 ※取得していない方は「0日」とご記入ください。
--

※1.付与日数と取得日数は当該休暇年度に新たに利用できる年次有給休暇の日数をいいます(前年度からの繰越分は含みません)。

※2.「直近1年間」とは、あなたが働く事業所で年休を付与する上で区切りとしている期間で、暦年や会計年度単位で構いません。例えば、決算期の3月31日を区切りとする場合、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間について回答してください。

問28. あなたが勤めている会社では、長時間労働や健康管理のために、以下のようなサービスや対策を実施していますか。(○はそれぞれあてはまるものに1つ)

	やっている	やっていない	わからない
a. ノー残業デー	1	2	3
b. 退勤時刻の際の終業の呼びかけ・強制消灯	1	2	3
c. IDカード等による労働時間の管理・把握	1	2	3
d. 自分の労働時間が簡単に分かる仕組み	1	2	3
e. 長時間労働の者やその上司への注意・助言	1	2	3
f. 定期健診以外での長時間労働やストレスに関するカウンセリング	1	2	3

問29. 長時間労働やサービス残業をなくすためには、何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 業務量を減らす 2. 新しく人を雇う 3. 残業手当を働いた分だけちゃんと払う 4. 働くものそれぞれが残業しないように気をつける 5. 仕事中心の人生を考え直す 6. 労働組合が残業申請にもっと真剣に取り組む 7. 会社がノー残業デーや退勤時刻の際の終業の呼びかけなどを行う 8. 残業が評価されないような仕組みをつくる 9. 法律の基準を厳しくする 10. 法律違反の取り締まりを強化する(サービス残業・無給労働を取り締まる) 11. 基本給の水準を上げる 12. 残業の賃金割増率を現状よりも高くする 13. その他()

iv. 仕事に関する意識について

問30. 仕事やキャリアに対するあなた自身について、以下の点ほどの程度あてはまりますか。(○はそれぞれ1つ)

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
a. 出世志向が高い	1	2	3	4
b. 自己管理能力が高い	1	2	3	4
c. 仕事を頼まれると断れない	1	2	3	4
d. てきぱき仕事をしている	1	2	3	4
e. 専門職志向が高い	1	2	3	4
f. 協調性がある	1	2	3	4
g. 仕事がないと不安になる	1	2	3	4
h. 仕事に対する責任感が強い	1	2	3	4
i. 上司が退社するまで帰宅しない	1	2	3	4
j. これまで受けてきた評価は高いほうだ	1	2	3	4

問31. あなたにとって、会社はどのようなものですか。(○は1つ)

1. 業績を上げて会社のために尽力し、会社にも認められたいと思う 2. 無難に勤めて人並みには会社のためになろうと思う 3. 会社には特にこれといった思い入れはない
--

問32. あなたの仕事と余暇のバランスについてお知らせください。(○は1つ)

1. 仕事に生きがいを求めており、全力を傾けている
2. 仕事に力を入れるが、時には余暇も楽しむ
3. 仕事も余暇も同じくらい大切だと考えている
4. 仕事はほどほどにして、なるべく余暇を楽しむ
5. 仕事は重視せず、余暇に生きがいを求める

問33. あなたは今後どのような職業生活を送りたいと思いますか。(○は1つ)

1. いろいろな業務を経験してこの会社の経営層に加わりたい
2. ある程度昇進して、この会社の管理職として仕事をしていきたい
3. 昇進できるかどうかはともかく、できるだけ長くこの会社に勤めていたい
4. 自分の経験、資格、専門知識、特殊技能を活かしてこの会社で腕をふるいたい
5. 独立開業をして自分の力をためしたい
6. いいところがあればいずれ転職したい
7. いいところを見つけてすぐにでも転職したい
8. 特に希望はなく、成り行きに任せる
9. 条件が許せば、いつか働くのを辞めたい
10. いますぐにでも働くのをやめたい
11. 近いうちに辞める予定

v. 仕事の性質や上司の性質について

問34. あなたの仕事について、以下の点はどの程度当てはまりますか。(○は1つずつ)

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない
a. 仕事の範囲や目標がはっきりしている	1	2	3	4
b. 自分で仕事のペースや手順を変えられる	1	2	3	4
c. 1人でこなせる仕事が多い	1	2	3	4
d. 取引先や顧客の対応が多い	1	2	3	4
e. 社内の他の部門との連携・調整が多い	1	2	3	4
f. 企画・判断を求められる仕事が多い	1	2	3	4
g. 会議や打合わせが多い	1	2	3	4
h. 会社以外の場所でも仕事ができる	1	2	3	4

問35. 次のような職場や仕事に関する対人関係でどの程度ストレスを感じていますか。(○は1つずつ)

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない
a. 職場の上司との関係	1	2	3	4
b. 職場の同僚や部下との関係	1	2	3	4
c. 社内の他部門との関係	1	2	3	4
d. 取引先や顧客との関係	1	2	3	4

問36. あなたの直属の上司は以下の点がどの程度当てはまりますか。(○は1つずつ)

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない
a. 必要以上に資料の作成を指示する	1	2	3	4
b. 必要以上に会議を行う	1	2	3	4
c. 仕事の指示に計画性がない	1	2	3	4
d. 指示する仕事の内容が明確でない	1	2	3	4
e. 終業時刻直前に仕事の指示をする	1	2	3	4
f. 残業することを前提に仕事の指示をする	1	2	3	4
g. 社員間の仕事の平準化をはかっていない	1	2	3	4
h. つきあい残業をさせる	1	2	3	4
i. 残業する人ほど高く評価する	1	2	3	4

iii. 非正規雇用者について

【問11で「2. パート」～「5. 契約社員」とお答えの方におたずねします。「1. 正規の職員・従業員」「6. 嘱託」「7. その他」とお答えの方は問40へお進みください。】

問37. あなたが現事業所での雇用形態において『非正規雇用』を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分の都合のよい時間に働けるから	2. 家計の補助、学費等を得たいから
3. 家庭の事情や趣味などと両立しやすいから	4. 通勤時間が短いから
5. 自分で自由に使えるお金を得たいから	6. 勤務時間や労働日数が短いから
7. 専門的な資格・技術を活かせるから	8. 簡単な仕事で責任も少ないから
9. より収入の多い仕事に従事したいから	10. 組織に縛られたくないから
11. 年収調整や労働時間の調整がしやすいから	12. 体力的に正社員としては働けなかったから
13. 採用募集枠がこの雇用形態だったから	14. 正社員として働ける事業所がなかったから
15. 地元(県内)で働きたいから	16. その他()

問38. あなたは現事業所で正社員になりたいと思いますか。(○は1つ)

1. 絶対に正社員になりたい→問38-1へ	2. どちらかといえば正社員になりたい→問38-1へ
3. どちらかといえば非正規雇用のままでよい →問39へ	4. 非正規雇用のままでいたい→問39へ

【問38で「1. 絶対に正社員になりたい」「2. どちらかといえば正社員になりたい」とお答えの方におたずねします。】

問38-1 あなたが正社員を希望する理由は何ですか。(○は1つ)

1. 雇用期間の終了で解雇とならないから	2. 給与などがアップするから
3. 職域の拡大や職務難易度の上昇が望めるから	4. 権限が拡大するから
5. 昇進・昇格が望めるから	6. その他()

問39. あなたが現事業所で正社員となるために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 適正な勤務評価	2. 従業員に対する教育の充実
3. 正社員も含めたワークシェアリングの推進	4. 企業の業績向上
5. 自己啓発等によるスキルアップ	6. 労働時間の調整が可能な正社員枠の確保
7. 正社員採用枠の追加	8. 事業所内における保育施設等の設置
9. 能力不足な正社員の解雇・雇用終了	10. その他()

問 4 5. あなたは部下を評価する場合、残業が多い部下をどのように評価していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. プラスに評価している | 2. ある程度プラスに評価している |
| 3. どちらにも評価していない | 4. ややマイナスに評価している |
| 5. マイナスに評価している | |

ご協力ありがとうございました。